

# 炭素繊維複合材料

Carbon Fiber Reinforced Plastics

最新動向と加工技術

参加  
無料

2012 (Fri)  
**2/3** 15:00 ▶ 19:00  
(交流会 17:15 ~ 19:00)  
※交流会は参加費 1,000 円

会場

北九州学術研究都市  
学術情報センター 遠隔講義室 1

北九州市若松区ひびきの 1-3

講演 1 15:00 ~ 15:30 (30分)

## 炭素繊維複合材料の技術開発動向と用途

東レ株式会社 ACM技術部  
主席部員 西原正浩氏

講演 2 15:30 ~ 16:00 (30分)

## 三菱重工業のCFRP製品への取り組み

三菱重工業株式会社 技術統括本部 長崎研究所  
構造研究室 主席研究員 野中吉紀氏

講演 3 16:00 ~ 16:30 (30分)

## 中小企業における炭素繊維強化複合材料の加工の現状と今後の課題

株式会社エーシーエム 取締役事業開発部  
部長 石川源氏

報告 16:30 ~ 17:00 (30分)

## CFRPの加工技術に関する調査報告

株式会社東レリサーチセンター  
先端技術調査研究室 鳥田恵子氏

交流会 17:15 ~ 19:00 参加費 一般: 1,000 円 学生: 500 円  
※ただし、ひびきの会員は無料

炭素繊維強化複合材料 (CFRP) は、その優れた特性 (比強度・比剛性が高い軽量材料) から、航空機、自動車、スポーツ、レジャー、医療機器等、様々な分野での用途が拡大しています。

今後ますます需要が見込まれ、注目を集める同材料の最新の技術開発動向や製品への取り組み状況等について、業界をリードする企業の方々にご講演いただきます。

### Access

[公共交通機関の場合]  
鹿児島本線『折尾駅』下車

市営バス 折尾駅西口→学研都市ひびきの  
※所要時間約 15 分

[車の場合]

北九州都市高速道路黒崎出入口  
(黒崎・折尾出口下車折尾方面へ)

学術研究都市

※北九州都市高速道路黒崎出入口からの所要時間 20 分



会場の詳細は  
こちらからアクセス!



申し込み  
問合せ先

(財) 北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号 TEL (093) 695-3006 FAX (093) 695-3018

Email: iac@ksrp.or.jp http://www.kq-ec.net/iac

ホームページは 産学連携センター 北九州

検索

## 講演 1

### 炭素繊維複合材料の技術開発動向と用途

15:00 ~ 15:30 (30分) 東レ株式会社 ACM技術部 主席部員 西原正浩氏

PAN系炭素繊維の商業生産開始から40年、世界需要は4万tにも成長しました。当初はスポーツ・航空機の用途開発が中心でしたが現在では一般産業用途での急拡大期を迎えています。本講演ではこの成長に伴って開発された技術について説明します。

1986年 東京大学大学院修士課程修了、同年4月東レ開発研究所入社。  
1989年 Soficar社(フランス)出向、技術課長。技サ・テクニカルマーケティングを担当。  
2004年 現職ACM技術部、主席部員。エアバス担当を経て、現在産業用途テクニカルマーケティングを担当。

## 講演 2

### 三菱重工業のCFRP製品への取り組み

15:30 ~ 16:00 (30分) 三菱重工業株式会社 技術統括本部 長崎研究所 構造研究室 主席研究員 野中吉紀氏

三菱重工業(株)では航空機・ロケットを中心にCFRP製品の実用化を進めてきました。現在ではボーイング787やH-2Aロケットなどの大型製品にも適用されています。これらの製品をはじめ、現在の当社の取り組み状況について説明します。

1994年 東京大学大学院修士課程修了  
同年 三菱重工業入社、長崎研究所強度研究室  
2000年 複合材強度評価法開発を担当  
2010年 強度研究室主席研究員  
2011年 構造研究室主席研究員

## 講演 3

### 中小企業における炭素繊維複合材料加工の現状と今後の課題

16:00 ~ 16:30 (30分) 株式会社エーシーエム 取締役事業開発部 部長 石川源氏

現在社長以下従業員数30名弱の小企業である(株)エーシーエムは、CFRPの材料設計から成形、機械加工、接合・組立・仕上までの一貫したサービスで、顧客の要求を満足させるために、会話(キャッチボール)を第一にして利益を確保しつつビジネス拡大に向け取り組んでいる。新規顧客開拓から試作、量産までの事例紹介と、今後に向けての課題をご紹介します。

1969年 早稲田大学理工学部機械工学科卒業、同年日本石油化学(株)入社。  
1986年 ピッチ系炭素繊維製造プロセス開発  
1992年 日本石油(株)異動、複合材料ビジネス開発  
1998年 日本グラファイトファイバー(株)へ出向、ピッチ系炭素繊維営業(主として宇宙分野)  
2006年 満年退職と同時に(株)エーシーエムに取締役事業開発部長として入社。

第107回 お申込み用紙 FAX.093-695-3018 (産学連携企画担当課行)

貴社名

お名前

役職

交流会に参加する

参加する

参加しない

住所 〒

電話

E-mail

産学連携に関するイベント等メルマガ配信

希望する

希望しない

登録済み

※用紙を切り取らずそのままFAXしてください。

※ご記入いただいた個人情報、今後の参加受付ならびに今後の当財団が関与するセミナーなどの案内以外の目的で使用することはありません。